

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
オールカマー	別定	GII	中山	芝2200m	良想定	消耗	中荒れ	B

※文字色の意味

2018/9/23

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ペース	総合	人気	印	結果	大駆け
1	アルアイン	北村友	ディーブインバクト	サンデーサイレンス	エッセンスオブドバイ	エービーインディ	C	B	A	B	B	B	3	▲	2	1
2	ダンビュライト	武豊	ルーラーシップ	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	A	A	C	A	A	B	2	☆	3	-1
3	ガンコ	藤岡佑	ナカヤマフェスタ	サンデーサイレンス	シングスピール	サドラズウェルズ	C	C	C	B	C	C	4	△3	7	-3
4	マイネルミラノ	丹内	ステイゴールド	サンデーサイレンス	ホリウツバシ	ダンジグ	B	C	D	E	E	E	10	消	12	-2
5	ブライトパローズ	石橋脩	キングカメハメハ	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	C	C	E	D	E	E	11	消	8	3
6	ショウナンパッハ	三浦	ステイゴールド	サンデーサイレンス	スクラバクシンオー	プリンスリーギフト	C	C	C	B	A	C	9	△2	5	4
7	レイデオロ	ルメール	キングカメハメハ	キングマンボ	シンボリクリスエス	ロベルト	B	A	A	A	A	A	1	◎	1	0
8	ゴールドアクター	吉田準	スクリーンヒーロー	ロベルト	キョウワアリシバ	レイズアネイティヴ	A	B	D	D	D	D	6	消	11	-5
9	ミライヘノツバサ	北村宏	ドリームジャーニー	サンデーサイレンス	シルバーチャーム	トムファール	B	A	B	B	C	C	8	△5	10	-2
10	ブラックバゴ	池添	バゴ	ブラッシンググルーム	ステイゴールド	サンデーサイレンス	B	A	C	C	A	B	7	○	6	1
11	エアアンセム	田辺	シンボリクリスエス	ロベルト	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	B	B	C	B	C	B	5	△1	4	1
12	マイネルフロスト	柴田大	ブラックタイド	サンデーサイレンス	グラスワンダー	ロベルト	B	A	C	C	B	B	12	△4	9	3

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>先週のセントライト記念と同じ中山芝2200mで行われるオールカマー。このレースのポイントは週中の考察でも述べたように中山芝2200mという特殊な条件を理解する事。3コーナー部分がフォルスストレートのようになっているのでロングスパート戦になりやすく、スローペースの瞬発力勝負などにはなりにくいのがこの舞台の特徴。</p> <p>今年はマイネルミラノがかなり飛ばして逃げそうな感じがまず間違いなくロンスパの持久力勝負になるはず。陣営は年初のAJCCの好走をイメージして後ろを引き離す逃げを打ちたいと考えているみたいですが、あのAJCCはかなりのスローペースだから逃げ粘れたのが実際。今回はエアアンセム、ガンコ、ダンビュライト、ミライヘノツバサ、アルアイン、マイネルフロストなど早めに仕掛けそうな馬がわんさかいる。マイネルミラノだけが後ろを引き離すが実はスローペースのような展開にはならないか。</p> <p>ご覧の通りでスパッと切れない持久力タイプの先行馬がズラリと揃ったおかげでスパート位置はかなり早くなるはず。マイネルミラノも4コーナーぐらいで潰されるような展開になりそうですし、そうなるとレース上がりはかなりかかりそう。最後はワテンボ遅らせて仕掛けた持久力ある差し馬に展開が向きそう、この条件に合いそうな長く良い脚を使える馬を狙ってみたい。</p> <p>本命はこの条件ならば◎レイデオロの能力を信用していいはず。先週も同じ条件で全弟レイエンダを本命としたが、この血統は母父ロベルトの影響が出ているのでとにかく長く良い脚を使ってこそ良さが出る馬。そこまで器用さが必要とされずにロンスパを仕掛けやすい中山芝2200mはレイデオロにとってはベスト条件と言っていいだろう。昨年の秋の神戸新聞杯の圧勝劇、および一頭だけ外から差してきて4着以下を突き放したジャパンカップの内容を見ても中距離路線で能力最上位級なのは明白。札幌記念ではジャパンカップで離れた4着だったマカヒキが勝ち負けになっていますし、そこでの比較で考えても今回のメンバーでも当然中心となる一頭だ。</p> <p>今年に入ってからの2戦は結果が出ていないが、京都記念は超タフな道悪馬場でのスローペース戦という特殊な条件だった上に、バルジュール騎手への乗り替わりで途中で折り合いを完全に欠いているのである程度外視可能。前走のドバイシーマクラシックは驚くほどの超スローペースになっており、そこまで末脚キレないこの馬には物理的に無理な展開になった。それでも強敵相手に4着に走ったんだから上出来だろう。</p> <p>今回はここ2戦に比べれば間違いなくペースは流れるはずで、折り合い面に不安があるこの馬には絶好の条件。勝手に前の馬が早めにスパートをしてくれそうな感じで、そうなれば末脚の持続力を活かしたいこの馬にはベストな条件と展開が揃いそう、ここは休み明けでの始動戦だとしても3着を外す事は考えにくい。</p>
REVIEW
<p>マイネルミラノが逃げたが予想外に前半はスローペース。そこからロンスパのラップにはなっているが、マイネルミラノ以外は息が入る流れになっており予想したようなスーパーポテンシャル勝負にはならなかった。こうなると速い馬場ではある程度前につけた馬しか来れないはずで、絶好位につけたアルアインが押し切ろうとしたところをレイデオロがインから差し切って勝利した。</p>

血統						
平坦ラップの持続力勝負にまず間違いなくなるレースで、とにかく持続力血統が不可欠。ロベルトやグレインヴリンが特注血統と言える。						
適性						
ずーっと平均ラップで進むレースで、決め手なんて特に必要なし。とにかくバテずに伸び続ける適性が要求されるレースで、そういったバテないタイプを狙いたい。						
データ						
<p>◎1番人気 (3-4-1-2) ×7歳以上で当日8番人気以下 (0-0-0-30) ×8歳以上 (0-0-0-18) ×関西馬で当日8番人気以下 (0-0-0-25) ○前走宝塚記念 (3-4-1-6) ×6歳以上で前走10着以下 (0-0-0-22) △前走OP特別で5着以下 (0-0-2-18) ×間隔中2週以内 (0-0-0-28)</p>						
ペース						
56kgならマイネルミラノが逃げられる。向こう正面から早めのスパートを仕掛けそうで上がりはかなりかかる。ワテンボ仕掛けを遅らせた差し馬に展開は向く。						
危険な馬						
ガンコ=確かにスタミナ型の馬ではあるのだが、この馬は荒れ馬場を苦にしないゆったり先行タイプのように見え、今回のような2200mでのガンコ体力勝負に合いそうな感じがあまりしない。菊花賞もちょっと負けすぎず少しスピードを問われるとダメな感じ。						
妙味大な馬						
レイデオロ=今回はここ2戦に比べれば間違いなくペースは流れるはずで、折り合い面に不安があるこの馬には絶好の条件。勝手に前の馬が早めにスパートをしてくれそうな感じで、そうなれば末脚の持続力を活かしたいこの馬にはベストな条件と展開が揃いそう。						
穴馬						
ブラックバゴ=父がスタミナ型のナスルーラで母父ステイゴールドという配合で、前半部分をじっくり溜めて最後に外から追い込んで届くかどうかというタイプ。2走前の重賞4着の内容を見ても中山コースで上がりがかかる展開になれば十分に差し込んでくれる。						
タイム						
<table border="1"> <tr> <th>タイム</th> <th>上3F</th> <th>下3F</th> </tr> <tr> <td>2:11.02</td> <td>35.9</td> <td>35.3</td> </tr> </table>	タイム	上3F	下3F	2:11.02	35.9	35.3
タイム	上3F	下3F				
2:11.02	35.9	35.3				
ラップタイム						
12.6 - 10.6 - 12.7 - 12.3 - 12.3 - 11.7 - 11.8 - 11.9 - 11.8 - 11.5 - 12.0						

Copyright (C) 2014 - KAZ
 All Rights Reserved.
 本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

